

福岡金融・経済記者クラブ 各位

九州地域戦略会議「第16回夏季セミナー」の開催について

標記について、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. **開催日** 2019年8月7日（水）～8月8日（木）
2. **場 所** 熊本ホテルキャッスル
住所 熊本県熊本市中央区城東町4-2 TEL 096-326-3311（代表）
メイン会場（開会式・基調講演）：2階「キャッスルホールA・B」
分科会会場
第1分科会：2階「キャッスルホールC」
第2分科会：2階「キャッスルホールD」
第3分科会：地下1階「クリスタルホールA」
第4分科会：地下1階「クリスタルホールB」
3. **主 催** 九州地域戦略会議※
※九州地方知事会と九州経済4団体（（一社）九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会）で構成
4. **テ ー マ**
「新たな未来の創造～KYUSHU（九州）から起こす波～」
5. **出席予定者**
九州・山口各県知事・議会議長、大学学長、九州経済4団体の役員・会員等 約120名
6. **全体スケジュール** ※別紙参照願います
7. **取材上の留意点**
 - ・取材をされる場合は、「報道受付」（熊本ホテルキャッスル2階ロビー）にお立ち寄りください。
報道受付時間：8月7日（水）13:00～14:30 ・ 8日（木）8:30～10:00
 - ・腕章（社章）又は吊り下げ名札等を着用してください。
 - ・記者会見は、設定しておりません。
 - ・産業視察を除き「公開」です。

以 上

九州地域戦略会議事務局 [(一社)九州経済連合会 企画調査部内]
担当：滝（たき）・和久田（わくだ）・伊豫田（いよた）
TEL：092-761-4261

九州地域戦略会議 第16回夏季セミナー「全体スケジュール」

会場：熊本ホテルキャッスル

日 時		行 事	場 所
8月7日 (水)	13:30～13:45	開会式	
	13:45～15:00	基調講演 野村総合研究所 顧問 増田 寛也 氏 テーマ 縮小時代における地域経営について	2階「キャッスルホールA・B」
	15:30～18:00	第1分科会 新たな外国人材の受入れ	2階「キャッスルホールC」
		第2分科会 スポーツの多様な可能性を活かした九州創生	2階「キャッスルホールD」
		第3分科会 新技術への挑戦 ～九州の強みを伸ばす AI・データ・ロボット活用～	地下1階「クリスタルホールA」
第4分科会 地方創生、実践編！ ～ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)が決め手～	地下1階「クリスタルホールB」		
8月8日 (木)	9:00～10:30	全体会議	2階「キャッスルホールA・B」
	10:30～13:30	産業視察	

九州地域戦略会議 第16回夏季セミナー「分科会」趣旨・論点

第1分科会 新たな外国人材の受入れ

趣 旨

急速に進む少子高齢化に伴う各産業における人手不足の現状に対応し、経済を継続的に維持・発展させていくため、国において新たな在留資格「特定技能」が創設され、平成31年4月から新たな外国人材の受入れが始まった。九州各県においても、女性や高齢者の活用とともに、外国人材を新たな労働力として受け入れ、活用していく必要がある。

優秀な人材の大都市圏への集中が懸念される中で、外国人材が九州を選び活躍できるための環境整備を九州全体で積極的に進めていかなければならない。

外国人材が活躍し、九州各地域の経済の活性化に繋げるための課題や方向性について検討する。

論 点

- ① 九州における労働力不足の現状と外国人材受入れの必要性
- ② 外国人材の受入れに係る事業者・行政の対応と課題
- ③ 九州全体で外国人材を獲得していくための施策の可能性

第2分科会 スポーツの多様な可能性を活かした九州創生

趣 旨

九州では、本年ラグビーワールドカップをはじめ、ワールドカップバレーボール大会や女子ハンドボール世界選手権大会等が、また2021年には世界水泳、2023年には国民体育大会から名称が変わって第1回となる国民スポーツ大会が開催される等、大型のスポーツイベントが数多く開催されることになっており、これまで以上にスポーツへの関心が高まることが期待される。

こうした動きを絶好の機会と捉え、本分科会においては、スポーツツーリズムをはじめ、プロスポーツ、まちづくり、人づくり等、スポーツの多様な可能性を活かした九州創生について幅広く議論する。

論 点

- ① 九州ならではの地域特性を活かしたスポーツツーリズムの可能性について
- ② スポーツ施設の多様な利活用促進によるにぎわい創出について
- ③ スポーツを通じたシビックプライドの醸成について

第3分科会 新技術への挑戦 ～九州の強みを伸ばす AI・データ・ロボット活用～

趣 旨

AI、ビッグデータ、IoT 等を活用した革新的なデジタル製品・サービスが新たな市場を拓く一方、人口減少、少子高齢化の進行もあり、多くの企業が人手不足に直面するなど、社会課題が顕在化してきている。

九州には、自動車や半導体などのものづくり産業が集積しており、近年では福岡などを中心に IT・ベンチャー企業の取組も活発化しつつある。

このような状況のなか、第5世代移動通信システム（5G）のプレサービスが、今年（2019年）から開始される予定。

ソフトだけでなく、九州の強みであるハード分野も含め、先端技術やビッグデータを活用した新事業領域の開拓や様々な分野での社会実装に取り組んでいく必要がある。

論 点

- ① 第4次産業革命が進展する中、九州の強みであるものづくり等における先端技術への対応、ビジネスモデルの転換に向けた動向の把握
- ② 宇宙、海洋を含む新事業領域の開拓に向けた九州のポテンシャルと進出促進策の検討
- ③ ロボット、AI、5G など先端技術について、製造業だけでなく、観光、教育、医療など様々な分野で社会実装に挑戦する機運の醸成

第4分科会 地方創生、実践編！ ～ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)が決め手～

趣 旨

地方創生の取り組みは、すでに始まって4年半が経過して実践段階に来ている。本分科会では、society5.0 やSDGs のトレンドを踏まえつつ、環境、観光・食などの分野での先進事例を紹介するとともに、その決め手となる“ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)”の形成に焦点を当てる。

環境省は、九州の強みと特色を生かした「九州地域循環共生圏」を実現して、アジア、そして世界への発信で地域主導の取り組みをサポートする。地域主導の動きでは、自然環境の保全や観光・食などの分野で、人的なネットワークを通じたゆるやかな地域コミュニティ(共同体)の形成によって、経済再生への動きがみられる。以下のような視点で、九州経済の成長に向けた地方創生の課題と対応について議論を深める。

- ・ 起業家精神とネガティブ思考からの脱却
- ・ 長野県飯田市、青森県八戸市、宮崎県の先進事例と示唆
- ・ 成功事例と失敗事例の4つの要件
- ・ 地域の社会的課題の解決 vs. ありたい地域に向けた提案

論 点

- ① 環境、観光、食など、地方創生の具体的プロジェクトと横展開の可能性
- ② ゆるやかな地域コミュニティ（共同体）と新たな仕事の場づくり
- ③ 「九州地域循環共生圏」による地方創生の実現と地域主導の取り組みへのサポート